



“讀”平和を讀えて

# 広島交響楽団

## 第407回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 407th Subscription Concert



ヴァイオリン  
渡辺玲子  
Violin  
Reiko Watanabe

指揮

チャールズ・オリヴィエリ=モンロー

Conductor

Charles Olivieri-Munroe

2021.1.23(土)

15:00開演〔14:00開場〕

Sat Jan 23, 2021 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込／全席指定)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日／会員先行発売12月18日(金)(9:00～広響事務局のみ)一般販売12月23日(水)

アルヴェーン:スウェーデン狂詩曲第1番作品19「夏至の徹夜祭」  
Alfvén: Swedish Rhapsody No.1 Op.19 "Midsummer Vigil"

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品47  
Sibelius: Violin Concerto in D minor Op.47

シベリウス:交響曲第5番変ホ長調作品82  
Sibelius: Symphony No.5 in E-flat major Op.82

※当初予定のプログラムから曲目、出演者が変更となっております。

コンサートマスター:佐久間聰一  
Concertmaster: Soichi Sakuma

プレイガイド

ローソンチケット(Lコード:62801)・チケットぴあ(Pコード:175-005)・広響事務局

主 催 | 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 |  文化庁  
Agency for Cultural Affairs  
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛 |  Enercior 中国電力

後 援 | 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、  
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※当公演では一部の席を除いて全席販売いたします。

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

広響公式ホームページ▶



 beyond  
2020

お問い合わせ | 広響事務局 TEL:082-532-3080  
HP:<http://hirokyo.or.jp>



このコロナ禍にあって、遙々来日下さる指揮者のチャールズ・オリヴィエリ=モンロー氏と、代役として急な出演依頼に快く応じてくださいました、渡辺玲子氏に深く感謝申し上げます。

協奏曲での曲目の変更はありましたが、当初の趣旨に沿った北欧からの3作品をお届けいたします。スウェーデンにおいては初夏に当たる6月下旬の夏至祭、ミッドサマーでの賑わいを模した華やかさ満載の「スウェーデン狂詩曲第1番」に続き、雄大なフィンランドの大地から生まれ出たシベリウスの芸術的2作品を味わい尽くします。

コンサート会場内では新型コロナウイルス感染症対策によりご不便をおかけしますが、安心して音楽をご鑑賞いただけるよう楽員・スタッフ一同、皆様のお越しを心よりお待ち申し上げております。



**[指揮] チャールズ・オリヴィエリ=モンロー** Conductor / Charles Olivieri-Munroe  
ノース・チェコ・フィルハーモニー管弦楽団(テプリツエ)名誉首席指揮者

マルタで生まれ、カナダで育ったチャールズ・オリヴィエリ=モンローは、カナダの王立音楽院とトロント大学でピアノを学び、チェコスロバキア(当時)のヤーネチク音楽アカデミー(ブルノ)で指揮を学ぶ。ビエロフラーヴェクに師事したほか、1995年と1996年の夏にはシエナのキジアーナ音楽院でムーシン、テミルカーノフ等に学ぶ。2000年の〈プラハの春音楽祭指揮者コンクール〉第1位受賞。スプラフォン・レコード賞、プラハ市賞、チェコ・ラジオ放送賞も合わせて獲得。

これまでに、ポーランド・クラクフ・フィルハーモニー管弦楽団 芸術監督兼首席指揮者、ドイツ・南ヴェストファーレン交響楽団首席指揮者、スロヴァキア放送交響楽団首席指揮者などを歴任。

イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、モントリオール交響楽団、トロント交響楽団、シドニー響、ベルリン・ドイツ響、サンクトペテルブルク・フィル、ロシア国立フィル、デンマーク放送響、チェコ・フィル、ワルシャワ・フィル、さらにベルリン・コーミッシェ・オーパーでヴェルディの『ファルスタッフ』ミラノで『ドン・ジョヴァンニ』を、コモ湖音楽祭では『アイーダ』を振り、フェニーチェ劇場、プラハ国民劇場、プラハ国立歌劇場、ワルシャワ室内歌劇場などからも招かれている。



**[ヴァイオリン] 渡辺玲子** Violin / Reiko Watanabe

超絶的なテクニック、玲瓏で知的な音楽性、切れ味鋭い官能性と幅広いレパートリーで、世界のヴァイオリン界をリードする逸材。

1984年ヴィオッティ、86年パガニーニ両国際コンクールで最高位を受賞。これまでに国内主要オーケストラはもとより、ワシントン・ナショナル響、ロサンゼルス・フィル、フィルハーモニア管、BBC響、ウィーン・トーンキュンストラー管、ロシア・ナショナル管などと共に国際的に活躍。とりわけ、シノーポリ指揮ドレスデン・シュターツカペレ、サンクトペテルブルク響との共演はCDもリリースされ、大好評を博した。

リサイタルでは、99年にリンカーン・センターにおいてニューヨーク・デビューを果たし、その後もラヴィニア音楽祭、イタリアのストレーサ音楽祭等に出演。

近年は、バレエとのコラボレーションや現代作品の初演などの演奏活動のみならず、国際教養大学特任教授として英語による集中講義を行うほか、「子どもたちのためのレクチャー・コンサート」、ラジオ番組「渡辺玲子の弓語り」のパーソナリティーを務めるなど、教育活動や音楽の魅力を広く伝える活動にも取り組んでいる。

CDは上記の協奏曲の他にも数多くリリース、いずれも高く評価されている。最新CDは“poetry”。

05年エクソン・モービル音楽賞奨励賞、18年には世界で活躍する女性に与えられる「リコグニション・アワード2018」を受賞。

使用楽器は、日本音楽財団より貸与されたストラディヴァリウス1735年製「サマズィユ」。

<http://www.reikowatanabe.com/>

## 広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき  
平熱と比べ高い発熱がある場合  
や、体調がすぐれない方はご来場  
をお控えください。



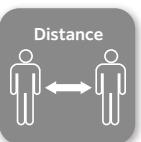
会場内では、常時マスクの  
着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご  
協力ください。



会場内での不要な会話は  
お控えいただき、演奏後の  
「プラボー」などのお声が  
けもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔  
を空けてお並びいただくよ  
うお願いいたします。